

岩下副委員長（民主県政会）

平成 31 年 2 月 28 日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）教員の育児休暇取得を促進する環境の整備について

育児休暇を取得する教員の代員の一定数を正規採用教員として確保していくべきではないかと考えるが、教育長の見解を伺う。

（答）

育児休業を取得しやすい環境を整備することは、志願者を増やす上でも有効であると認識しております。

しかしながら、代員となる教員につきましては、必要な校種や教科を事前に予測することは困難であること、また、代員となる教員を正規教員とするためには、定数外での教員を確保する必要があることなどの課題がございます。

このため、まずは、定数内の臨時的任用教員に係る課題の解消に取り組むとともに、今後とも、出産に伴う休暇の代員確保に、最優先で取り組むことにより、育児休業を取得しやすい環境を整えてまいりたいと考えております。